

平成28年(ワ)第380号 放送法遵守義務確認等請求事件
原告 宮内正蔵
被告 日本放送協会

証拠説明書(4)

平成29年3月16日

奈良 地方裁判所 民事部 1C係 御中

原告 訴訟代理人
弁護士 佐藤真理

号証	標目	原本 写し	作成 年月 日	作成者	立証趣旨
甲18	2016年の選挙をめぐるテレビ放送についての意見	写し	2017 /2/7	放送倫理・番組向上機構 放浪倫理検証委員会	番組編集準則は政府が放送内容に干渉する根拠たる法規範ではないという意味で倫理規範であること、選挙に関する報道と評論について量的公平は要求されないが質的公平は要求されていること、民主主義を機能させるためにマスメディアの責務として臆することのない放送が求められていること、及び自律的組織であるBPOがそのように考えていること等
甲19 の1	(教えて!BPOの意見書:1)選挙報道巡り異例の提起	写し	2017 /2/22	朝日新聞デジタル 小峰健二 滝沢分那	上記BPOの意見書(甲18)に関する各種論評
甲19 の2	(教えて!BPOの意見書:2)「自由な選挙報道を」現場の反応は?	写し	2017 /2/23	朝日新聞デジタル 真田香奈子 佐藤剛志	同上
甲19 の3	(教えて!BPOの意見書:3)選挙報道へ異例の見解、背景は?	写し	2017 /2/24	朝日新聞デジタル 滝沢分那 笹川翔平	同上
甲19 の4	(教えて!BPOの意見書:4)テレビに求められる選挙報道は?	写し	2017 /2/25	朝日新聞デジタル 伊東和貴 笹川翔平	同上

甲20	「クローズアップ現代+」「韓国 過熱する“少女像”問題 初めて語った元慰安婦」(2017年1月24日放送)に関する質問書	写し	2017/2/24	NHKを監視・激励する視聴者コミュニティ 共同代表 湯山哲守・醍醐聰	視聴者コミュニティがクローズアップ現代+における慰安婦問題・少女像問題に関する報道内容について、NHKに対し質問をしている事実及びその内容
甲21	韓国でのメディア報道	写し	2015/12/30~2017/1/19	聯合ニュース、東亜日報、ハンギョレ新聞	韓国メディアにおいて、慰安婦問題について多種多様な報道・論評がなされていること等
甲22	東京高裁平成24年2月29日判決(判例時報2143号89頁)及び判例解説	写し	2012/5/11	株式会社判例時報社	受信料債権は、現行法上、私人間の契約に基づく債権と構成されていること、少なくとも受信と受信料との間に対価性は認められること、及び東京高裁がそのように判断している事実等
甲23	放送法逐条解説(改訂版)	写し	2012/1/5	金澤薫	放送法5条の趣旨